

## 幸せの青い鳥はどこに～あなたの欲しかったものは何ですか？

### 第5回：何のために？そして、子供達の将来は？

～「しかえしだ！ しかえしだ！ しかえしだ！ 昔から、人間がわしらに対してやってきた悪いことへのしかえしだ！」～

「このプログラムは不正な処理を行ったため終了しました・・・」、「タイプ〇〇のエラーが起きました・・・」、こんなメッセージの他にも、突然のフリーズ、アプリケーション・ソフト間の相性の悪さ？等々、パソコンを使っているとさまざまな原因不明のエラーに戸惑う、といった経験はないだろうか？「道具」としてのパソコン、仕事を効率化させるためのパソコンだったはずなのに、いつのまにかパソコンの「お守り」をさせられ、パソコンに「使われている」人間たち・・・

何のための効率化？

ティーンエジャーによる連続殺人事件、両親殺害事件、バスジャック・・・。留まるところを知らない狂気の17歳による事件の数々。恐ろしいのは、このような事件が異常と感じられなくなっている現実。今、若者の間に何が起きているのか？こうしたことが起こる原因は、親？テレビゲーム？それとも暖衣飽食の社会？受験地獄とまで言われた教育システムから得られたものは・・・。我々が受けてきた教育は、どのような「良き次世代」を求めてきたのか？学校内では点を取る子供は良い子と言われ、学校生活と社会生活との接触の重要性は疎かにされ、物質的向上を目指す指導が行われてきた。家庭では父親不在、会話不在の中で成長していく子供たち。このような状況で、子供たちは物事を判断する能力を身につけることができるのか・・・

何のための教育？

「ゾウの時間、ネズミの時間」からの情報では、動物の寿命と心拍数を比較すると一生の間の心拍数はほぼ同じと言われている。つまり、「エネルギー消費」が大きい動物ほど「時間」が早く進む。現代の日本人は、生物として生きていくのに必要な量の約40倍ものエネルギーを消費しているという。つまり、エネルギーを浪費して老化を促進しているだけなのだろうか？最低限の食料さえ摂取できない人々が生きているこの地球上で、我々日本人のエネルギー浪費の向こう側に見えるものは・・・

何のためのエネルギー浪費？

文明の後には砂漠が残る、これは必然か？それとも、防げるのか？古代文明が栄えたエジプト、メソポタミア、インダス、黄河では、いったい何が起こったのか？有限の資源と無限の欲望の中で、グローバル化(人やモノ、情報の移動を完全に自由にし、地球規模で市場メカニズムを浸透させようとする)は本当に機能するのか？グローバル化は強者と弱者の格差拡大や環境破壊につながるだけではないのか・・・

何のためのグローバル化？

今、日本を覆っている「閉塞感」は、経済は成長し続けるという「成長神話」の崩壊、あるいは目標の喪失、といったものと無縁ではなかろう。物質的な豊かさだけが目標だったのだろうか？いや、物質的な豊かさだけでは人間は幸せになれない、といわれてから久しい。しかし、現実はどうか？物質的な豊かさとは違う別の幸せはどこにあるのか？最近の地球温暖化防止会議で問題となっていた、温暖化ガスの削減手段のための京都議定書に対して「経済に与える悪影響」を理由にアメリカが離脱し、批准を見送った。日本では、10年来の不況にあえぎながら、「痛みを伴う構造改革」がしきりに叫ばれているが、その「痛みの後」に想定されているものはやはり「既得権」としての物質的な豊かさを捨てきれない社会ではないのか？しかし、人類の果てしなき物質追求と自然の回復能力を遙かに越えた開発をこのまま続ければ、その行き着く先はある程度予想できよう。こうした中で、我々は次世代に対してどのような教育を行い、どのようなシステムを構築して行くべきかを本気で考える時が来ているのではないだろうか。



Copyright : 小学館